

メンテナンス方法

日常のお手入れ

掃除機をかける
パイルの毛並みを
起こすようにかけると
効果的です。



粘着テープ
取れにくい髪や糸クズは、
粘着テープで取り除くと
きれいになります。



拭き掃除
固く絞ったタオルや
雑巾で水拭きを
してください。



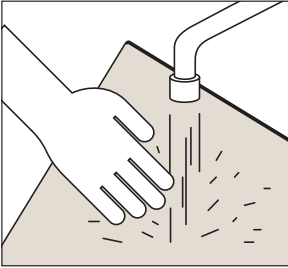
※家庭用床掃除ロボットのご使用は、掃除機本体の注意事項をお守りください。

ご注意

- ・ドライクリーニングはできません。
- ・シミ取りの洗濯に用いる洗剤は、かならず中性洗剤をお使いください。
- ・洗濯機による洗濯・脱水及び乾燥機による乾燥は行わないでください。
- ・弱アルカリ性のドライマーク衣料用洗剤や、漂白剤の使用は避けてください。

手洗い方法

1.手洗い



POINT 汚れた部分を洗う

ユニットラグの表面が汚れた場合は極力パイル部だけに水を当てるようにして洗ってください。それでも汚れが取れない場合は中性洗剤を薄めた水で手洗いし、しっかり水ですすいでください。すすぎが不十分だと吸着効果が低下し、滑りやすくなる恐れがあります。

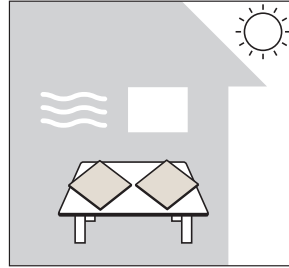
2.拭き取り



POINT 水をよく吸い取る

キレイに洗った後、含んだ水を手で振り切り、さらにタオル等でしっかり水を吸い取ってください。水の吸い取りが不十分な場合、特に裏面は乾燥しにくくなります。

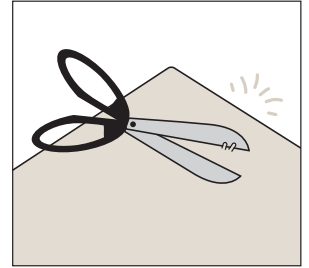
3.陰干し



POINT よく乾かす ※1

乾燥は陰干しで行い、なるべく風通しのよく、商品が変形しないように平らな場所に平置きするかまたはズボンハンガーなどで吊るしてしっかり乾燥させてください。
※完全に乾燥していないと変形や変色、またカビ・臭いが発生する恐れがあります。

4.仕上げ



POINT 整える

乾燥後、反り癖があれば直し、毛並みも揃えパイルのほつれがあれば、丁寧にハサミでカットしてください。

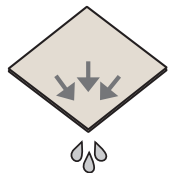
【汚れた部分を洗う場合の注意点】

- ①タオルや雑巾等で水分や、おおまかな汚れをこすったりせず、吸い取るように取り除きます。
- ②ぬるま湯に中性洗剤を少量混ぜ、スプレーボトルに入れ、汚れにスプレーをして、タオルでたたくように汚れを吸い取ってください。汚れが広がらないように、タオルのきれいな部分に替えながらたたくのがコツです(中性洗剤の他に、5%程度の重曹水を活用して頂くと汚れが取れやすくなります)。
- ③それでも取れない場合は、粉洗剤(弱アルカリ性)をパイルにまぶしてください。その上で 指先で髪の毛を洗うように洗浄し、しっかり汚れが取れたら、洗剤をお湯できれいに洗い流してください。
- ④汚れが取れたら、最後に粗めブラシ等でパイルをタテヨコ4方からブラッシングし、しっかり水を切って陰干しを行ってください。

注: 洗剤を使った場合は、最後に洗剤がカーペットに残らないよう、ぬるま湯だけで②の作業を行い、しっかりと拭き取るようにしてください。汚れをタオルに移していく方法が最も効果的です。

【乾かし方のコツに関して ※1】

- ①洗った後はしっかり水分を切ってください。ユニットラグを数分間、立て掛けておくことで水分は、上から下に流れます。更に図のようにすると、角部分に水分が集まります。その部分を手で絞ると水分が切りやすくなります。
- ②ユニットラグの上下をタオルで挟むような形にし、平らな場所においてタオルの上を歩くようにするとタオルに水分がよく吸い込みます。タオルが濡れましたら、乾いた新しいタオルに取り替えて繰り返してください。
- ③乾燥は陰干しで行い、なるべく風通しのよい、平らな場所で時々、裏表をひっくり返してしっかり乾燥させてください。また、ズボンハンガーなどで吊る方法も乾きやすくお勧めです。水の吸い取りが不十分な場合、特に裏面は乾燥しにくくなります。



スベアがあればさらに便利!

ユニットラグをはずして洗っている間に、空いたところにスベアを敷きます。その際にはパイルが目地に挟まれないようにしてください。色相や表面に微妙な差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。